

# 夢育通信

早春号 令和3年3月吉日発行

発行者 宇都宮市立清原北小学校長  
青柳文男

## 令和2年度 お世話になりました

コロナ対応に追われた令和2年度が終わろうとしています。年明け早々本県にも緊急事態宣言が出て、授業参観を「夢育劇場鑑賞会」に替えるなどの対応をしながら、安全第一の教育活動を実施してまいりました。その間、保護者の皆様、地域の皆様には、常に学校教育活動へのご理解とご支援を賜りました。お陰で本校におきましては、児童は大変落ち着いた日常を過ごし、無事に卒業式、修了式を迎える運びとなりました。あらためてお礼申し上げます。

今年度の卒業式は、PTA会長様と保護者の皆様、在校生の代表としての5年生と関係職員が、体育館のフロアで、主役である6年生を取り囲む形で行いました。様々な不安や不自由さの中でも下級生にやさしく、様々な場面で最上級生としてのリーダーシップを発揮した6年生。立派な行動力を見せてくれた皆さんは本校の誇りです。新しい時代に羽ばたく皆さんに、校長からは論語の「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」という言葉を贈りました。本校で培った様々な力をもとに、自分の好きなことを見つけ、それを楽しめる人になってほしい。そのことが将来必ず役に立つと話しました。今後の成長と活躍を心から期待しています。

最後になりましたが、今年一年、保護者の皆様、地域の皆様には常に学校へのあたたかなまなざしを向けていただきありがとうございました。今後も「地域に根ざした学校」「選ばれる学校」の推進に職員一同努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



### 令和3年度 学校経営の重点項目 (赤字は宇都宮市が推進)

- 1 小規模特認校としての「選ばれる学校」
  - (1) 確かな学力が身に付く授業
    - ・「はっきり」とその時間で何を学ぶのか分かる、めあての提示
    - ・「じっくり」と考えたり、話し合ったり、練習したりする時間の確保
    - ・「すっきり」とその時間で学んだこと、出来るようになったことが分かる振り返り
  - (2) 安全・安心な学校
    - ・自分のよさが友達や先生に分かってもらえるクラス
    - ・安心して生活できる環境の整備
- 2 地域と共にある学校
  - 「板戸学習プログラム」の充実
    - ・「板戸河岸」「鬼怒川」を核とした地域の良さを学ぶ「宇都宮学」の推進
- 3 今日の課題に積極的に取り組む学校
  - (1) プログラミング学習の推進
    - ・「プログラミング的思考」の育成
  - (2) GIGAスクール構想の推進
    - ・「一人一台端末」の積極的活用



## 春到来 子どもたちの様子



### 【こころの花をさかせましょう 1年生】

図工の時間に、自分の心の花を描きました。画用紙を渡すと、みんな生き生きした様子で描き始めました。きれいお花や、ユニークな花で、賑やかな作品になりました。1年生の明るい雰囲気表現されています。(星田)



### 【ぼく・わたしの物語を作ったよ 2年生】

生活科では、お家の方へのインタビューをもとに、世界にたった一つの物語作りに挑戦しました。自分の成長を支えてくれた家族への感謝の気持ちがたくさん詰まった素敵な作品に仕上がりました。(中山)



### 【段ボールで変身! 3年生】

段ボールを切って貼って組み立てて、ロボットや動物に変身しました。もっと動きやすく、もっと楽しくと考えて作りました。お気に入りの作品になったようです。(阿久津)



### 【二分の一成人式大成功 4年生】

今までの10年、家族の愛情でここまで成長することができたことに気づきました。また、これから未来の自分を夢を考え、「よし、頑張るぞ!」と目を輝かせていました。(川原田)



### 【生き物調査 まとめ! 5年生】

「田んぼの生き物調査」から学んだことやより詳しく知りたいことを自分でテーマを決めて追究しました。パワーポイントを使って上手にまとめて発表していました。(石田)



### 【日本から世界へ! 6年生】

社会科「日本とつながりの深い国々」では、サウジアラビア、ベトナムの日本人学校で指導した経験をもつ学校長の話を聞きました。パワーポイントを使った説明や現地の物に子どもたちは毎回興味津々。「行ってみたい」「もっと調べてみたい」と世界の国々へ視野を広げようとしています。(大坪)

